

いのちをつなぐ

SARAYA

webサイトは
こちらから



感染と予防

prevention of Infection

vol.8

安全安心な学校環境を目指してー。

コロナ禍における

「船橋市立芝山中学校」の取り組み





御校の概要についてお聞かせください。

船橋市内の中央部に位置する本校は、昭和52年に創立し、本年度創立46年目を迎えました。開校当初に芝中精神として掲げられた「フアイト・マナー・チームワーク」は、学校経営の柱として現在まで受け継がれ、生徒達にも親しまれています。今年度の生徒数は255名、各学年3クラスの全校9学級という小規模の学校ですが、生徒たちは明朗かつ素直で、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っています。また、各家庭および周辺住民の方の教育に対する関心は高く、とても協力的ですので、学校と地域が連携しながら、日々の教育活動に取り組んでいます。

コロナ禍での感染対策で、特にご苦労されたことや課題となったことをお聞かせください。

流行当初、教職員をグループ分けし、施設の清掃・消毒作業を行っていたのですが、界面活性剤はウイルスに対して効果があるとは解明されていなかったため、次亜塩素酸水やアルコールといった限られた薬剤だけが頼りでした。しかし、そのアルコールやスプレーボトル、手袋も思うように手に入らず、大変苦労しました。また、消毒作業は2度拭きを

していただきましたので、特にアレルギー症状のある職員の手荒れがひどくなっていたことを覚えています。感染対策に費やす時間も道具も、予想以上に必要でした。現在は、船橋市教育委員会より配当された、サラヤさんのサニベストを使用して、生徒と職員が一緒に清掃作業を行っています。サニベストは2度拭きしなくてよいこと、人体にとって安全性が高いということで、安心して使用することができています。

具体的な活用方法や、使用感はいかがでしたでしょうか？

手洗い場、トイレ、ドアノブ、階段の手すりなど、サニベストによる拭き掃除が定着しています。ピンク色なので、他の薬剤と間違えることもありません。さらに、本年度9月より、ランチルーム給食が再開されました。原則黙食ですが、対面式のテーブル中央には、パーテーションが配置されているので、机、イスとともにクラスごとに拭き掃除を行っています。給食後、昼休み中の短時間で行うため、清掃と除菌の両方を1つの薬剤で確実に行うことができるので、とても使い勝手がよいと感じています。

手洗いなど個々の感染対策を励行・習慣化するために、何か取り組みはされていますか？

コロナ禍になる前は、感染対策といえばインフルエンザがあげら

れ、流行する冬場に手洗い・うがいの呼びかけをしていましたが、今ほどその重要性についての意識は高くありませんでした。しかし、コロナ禍になってからは、消毒や換気、ソーシャルディスタンスなど、なかば強制的に行うようになり、手洗いへの関心も必然的に高まったように感じています。そのような中、手洗いの習慣を定着化させるための便利なグッズがないかと検討していた時に、サラヤさんの自動式の石けんディスペンサーを知り、導入することとなりました。今ではこまめな手洗いの習慣がすっかり定着したと思います。現在、自動式ディスペンサー・手動ポンプ式・固形と3タイプの石けんを設置していますが、先日、全校生徒を対象に「手洗い」についてのアンケートを実施したところ、およそ半数の生徒が自動式を使っている、と回答しています。「自動式は便利で使いやすい。」、





「固形石けんや手動のポンプ式だと色々な人が触れているので、使うのに抵抗がある。」などの意見がありました。今後も生徒の声を聞きながら、やるべき対策が定着するよう、様々な工夫を取り入れていきたいと思っています。他にも、月に1回、保健委員会の活動として、衛生検査を実施しており、爪のチェックを行っています。爪の中には雑菌などが入りこみやすいことも説明しているので、30秒手洗いを実施する生徒が増えるよう、引き続き、指導していきたいと思っています。

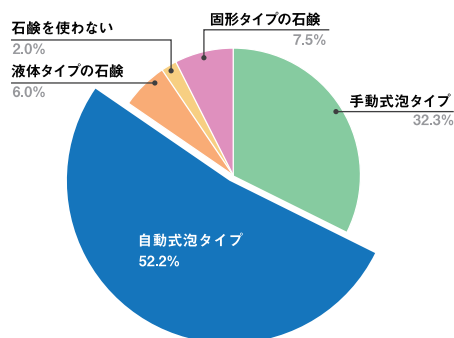
SDGsへの取り組みについてお聞かせください。教育活動ではどのようなことをされていますか？

3年生の総合的な学習の時間に、SDGsの17項目から1つ選び、自分には何ができるかを考える学習を行いました。昨年度から



は人権教育も進めているので、「10・人や国の不平等をなくそう」や「16・平和と公正をすべての人に」の項目に興味を持つ生徒が多く見られました。他にも、「3・すべての人に健康と福祉を」に関連付けて応募した、ちば県民予防財団主催の健康づくり標語では、3年生が優秀賞を受賞しました。

主に学校生活の中でどのタイプの石鹸を使っていますか？



また、このような学習としての取り組みだけでなく、例えば先述の自動式のデイスペンサーを導入したことで、ポンプ式の時に比べ、空ボトル廃棄が減り、CO₂の削減にもつながっているのではないのでしょうか。それは「12・つくる責任 つかう責任」や「13・気候変動に具体的な対策を」に連動していると思います。給食の残菜を減らすことも「2・飢餓をゼロに」について学ばせたいと思います。日常生活の中で、SDGsについて学び、目標を達成する気持ちを持てる、そんな学校を目指していきたいですね。今後は、よりサステナブルな社会への貢献が必要不可欠なと思いますので、私たち教職員もしっかりと取り組みたいと思います。



最後にメッセージをお願いします。

本校の感染対策として掲げている「手洗い、消毒、清掃の強化」において、シャボネット、ウィル・ステラ、サニベストは、安全安心な学校環境をつくるアイテムの一つになっています。未だ終息しないコロナ禍ではありますが、少しずつ流行以前の活動に戻していけるよう、「チーム学校」として生徒と職員が丸となり、引き続き、感染拡大防止に努めていきたいと思っています。コロナ禍において大変なこともたくさんありますが、「環境は人を育てる」と言います。健康であることの大切さを感じ、自分の健康を自己管理できる生徒の育成を目指し、今後も取り組んでいきたいと思っています。

インタビュー
ご回答者



校長
矢島 利明様



養護教諭
小野 庸子様



栄養士
住岡 洋美様



船橋市立芝山中学校
創立：昭和52年
生徒数：255名（令和4年12月20日現在）
所在地：千葉県船橋市芝山1-40-11

感染と予防

prevention of Infection



企業の生産性維持のため、従業員の感染症対策は必要不可欠です。企業の総務、危機管理担当者に向けた情報提供サイトとして“そうそう!こんな情報ほしかった!”にお応えします。

<http://pro.saraya.com/kansen-yobo/>



会員様
募集中!

✉ メールマガジンで、最新情報をいち早くお知らせいたします!

感染症対策・熱中症対策・食品衛生のお役立ち情報を多数ご用意しております。
さらに、会員登録でセミナーや啓発ツールなど、会員限定コンテンツがご利用いただけます。

PRO SARAYA の会員登録方法

プロサラヤ



ホームページ画面上にある「プロサラヤ会員」からご登録いただけます。

(会員登録・メルマガ登録無料) 詳しくは <https://pro.saraya.com/magazine/> まで



サラヤはSDGsを企業活動目標に取り入れています。

生物多様性の保全を目指す

熱帯地域では世界の需要増に伴い急速にアブラヤシのプランテーションが拡大しています。熱帯雨林で生きる野生生物の棲みかを守りつつ、我々の生活に欠かせなくなっているパーム油を持続可能な方法で調達することを重視し、人間社会の発展を目指しながら自然と共存する方法を考え行動しています。

対象商品の売上の1%が
ボルネオの環境保全に使われます。
※メーカー出荷額

対象商品



売上の1%

ボルネオ
保全トラスト



ボルネオ



<https://sdgs.saraya.com/>



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



ボルネオ保全トラスト (BCT: Borneo Conservation Trust) は、マレーシア・サバ州から認められたトラストで、アブラヤシ農園によって失われた熱帯雨林だった土地を買い戻し、野生生物が行き来できる「緑の回廊」を回復させる計画などを行っています。

- 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。
- 掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。
- 記載内容は2023年1月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8

TEL.06-6797-2525 <http://www.saraya.com/>